



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

浜松ハーモニーロータリークラブ週報

No. 1065 2022.03.02 (水)

2021~22年度 RI 会長 シェカール・メータ

RID2620 ガバナー 小林總一郎 (甲府北ロータリークラブ)

Hamamatsu
Harmony RC
Weekly
Bulletin

会長挨拶

高部千奈美

皆さま、こんばんは、本日も、ハーモニー事務局スタジオより、オンライン (Zoom) 例会を開催させていただきます。

東京大学総長、藤井輝夫先生が大学サイトに、「この度のロシアによるウクライナへの侵攻は、武力によって一方的に現状変更を行おうとするものであり、到底受け入れるものではない。この事態を深く憂慮し、被害の拡大を防ぐため、対話と交渉による平和的解決が図られることを強く望みます。」と書いておられ、これこそが、唯一被爆国である日本の姿勢だと思えます。浜松ハーモニーRCとして、ウクライナへの緊急支援を2620地区と連携を計り実践してまいりたいと思います。皆さまのご支援ご協力をお願いいたします。

さて、明日は、ひな祭りです。ひな祭りは桃の節句とよばれは、五節句の一つです。「節句」とは、「季節の節目になる日」のことです。日本人が自然の摂理に沿って健康に生きるための知恵が宿っています。桃の節句の隠されたテーマについてお話いたします。ひな祭りの起源は、古代中国の「上巳節」の行事が由来です。三月のはじめの巳の日「上巳の日」は、季節の変わり目で災いをもたらす邪気が入りやすいと考えられていたため、この日に水辺で穢れを祓う習慣がありました。この上巳節が遣唐使によって日本に伝えられ、禊の神事と結びつきました。最初は天皇 (天子) のための儀式でしたが、平安時代に宮中行事に取り入れられ、人形で自分の体をなでて穢れを移し、川や海に流すようになりました。老若男女問わず、人々は幸福を願い行いました。今でも、「流し雛」は、名残りと言えます。

江戸時代になると、5月5日の「端午の節句」を男の子の節句に対して、3月3日は、女の子の節句として定着しました。「桃の節句」とも言われますが、桃の花の開花に重なることと、桃の木は、邪気を祓う神聖な木と考えられていたからです。

人形作りの技術が発展し高級化してくると、人形は、流すものから飾るものへと変化し、内裏雛を雛壇に飾る「雛人形」が流行しました。こうして、女の子の幸せを願ってひな祭りとして皆でお祝いをするようになったのです。桃の節句には、母がちらし寿司・蛤のお吸い物などを手作してお祝いしてもらったことを思い出します。娘の健やかな成長を願う母の気持ちを、私も、娘や、孫たちに繋げていけたらと思います。四季折々の日本の伝統行事を、持続出来るように平和な世界でありますように願います。

本日は、伊藤千明さんに、レット王国第2弾として、卓話をお願いしています。一般社団法人レット協会代表理事として、レット王国と浜松市の連携強化にご尽力されています。グローバル補助金を活用した新たなスタイルの奉仕プロジェクト事業に挑戦いたしましょう。

嬉しいお知らせです。今日も例会参加の、ゴ・ズンバン君の就職が決定いたしました。

おめでとうございます。日も、有意義な例会となりますように、皆さまご協力のほど何卒よろしくをお願いいたします。

オンライン例会



「浜松市とレット王国の産学官連携及び一般社団法人日本レット王国協会の紹介と役割」
伊藤千明会員

1. 当協会の設立目的

日本とレット王国との間の文化、通商、経済、技術等の協力提携の緊密化を図り、両国の友好親善関係の増進及び相互の繁栄に寄与することを目的とします。

2. 活動内容

- (1) 交流会・講演会・セミナー等の開催及び後援を通じた我が国とレット王国の相互理解と友好関係の促進
- (2) 経済に関する情報収集・調査・研究を通じた我が国とレット王国両国間の経済協力と両国の中小企業の支援
- (3) 文化・芸術・スポーツ・教育等の行事開催及び後援を通じた我が国とレット王国両国間の文化協力の促進
- (4) 既存の奨学制度を活用すると共に、産業人材の育成の支援者を募り、我が国とレット王国両国人材交流を通じて両国間の交流の促進
- (5) 我が国とレット王国両国間における、自然災害等に対する緊急の復興支援活動及び義援金や支援金の募金
- (6) 前各号に掲げる活動等の目的を達成するための事業資金や支援者の募集



浜松ハーモニーロータリークラブ

〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1 グランドホテル浜松内

Tel: 053-413-1782 Fax: 053-413-1781 e-mail: hhrc@plum.ocn.ne.jp